宇都宮商工会議所 新役員・議員決定
第18代会頭に北村光弘氏を選任
副会頭には須賀、藤沢、斎藤、増渕の4氏

当所では、平成22年度臨時議員総会並びに第4回常議員会を11月1日（月）、市内ホテルにおいて開催し、第44期役員の選任を行いました。

これに先立つ8月5日（木）の常議員会において、簗郁夫会頭が4期12年にわたり務めてきた会頭職からの退任を表明しました。それを受けて、役員推薦委員会を設置し、会頭・副会頭などの役員人事について選考を進めてきましたが、臨時議員総会で同委員会の推薦を受けて、新会頭に前筆頭副会頭の北村光弘氏（㈱横倉本店会長）を選任しました。

また、副会頭には須賀英之氏（再任・㈻須賀学園副理事長）・藤沢智氏（再任・㈱足利銀行頭取）・斎藤高藏氏（新任・斎藤商事㈱社長）・増渕正二氏（新任・フタバ食品㈱社長）を選任し、新たな役員・議員による新体制がスタートしました。

続いて、顧問・参与の委嘱や、永きにわたり商工会議所に尽力された退任役員・議員に対して表彰および名誉会頭・名誉副会頭・名誉議員の名称を贈ることなどが承認されました。

簗前会頭から北村新会頭へのバトンタッチが行われたことで、当所も新しい体制を迎えることになりました。依然として厳しい経済状況が続いておりますが、当所では今後とも会員の皆さまや地域経済の発展に寄与するため、さまざまな事業を行っていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

臨時議員総会後の懇親パーティーにて
（左から、北村会頭、藤井名誉会頭、簗前会頭）

臨時議員総会を開催！

11月に開催された臨時議員総会並びに常議員会において、第44期役員が選任され、新たな体制での活動がスタートしました。簗会頭が退任され、会頭に北村氏、副会頭に須賀・藤沢・斎藤・増渕氏が選任されました。

副会頭（再）藤沢 智 氏

副会頭（再）須賀 英之 氏

副会頭（新）増渕 正二 氏

副会頭（新）斎藤 高藏 氏

就任挨拶をする北村会頭

就任挨拶

宇都宮商工会議所
会頭 北村 光弘

会頭就任にあたって

宇都宮商工会議所第44期の議員改選にあたり、簗会頭の後任として第18代の会頭に選任され、地域経済を牽引する地域総合経済団体の会頭という、その責任の重さを感じているところであり、身の引き締まる思いであります。

わが国の社会経済は、一昨年のリーマンショックや円高、デフレによる景気後退、さらには、人口減少社会、少子高齢化など、これまで味わったことのない大変な変革の時代を迎え、取り組むべき課題は山積しており、商工会議所においては、これら変化への対応や会員の減少への対応が喫緊の課題であります。

このため、商工会議所の使命、役割を再度認識し、地域経済発展のため、会員企業のため、何ができるかを十分検討し、力の限り尽くしたいと考えており、新たに策定します中期事業計画に盛り込まれた事業の着実な推進と組織の活性化を図り、「役に立つ商工会議所」を目指し、誠心誠意取り組んで参ります。

具体的には、①中小企業の支援 ②地域活力の活性化施策の推進 ③国や県市への政策提言や商工会議所組織・財政基盤の強化などに取り組んで参ります。

明治26年創設以来、117年の輝かしい伝統を守り、発展させるため、尽力したいと考えていますので、会員の皆さまのご理解・ご協力、役員・議員の皆さまのより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げまして、会頭就任の挨拶といたします。

退任挨拶

宇都宮商工会議所
前会頭
名誉会頭 簗 郁夫

先を読んで、事が起きる前に行動を

私は、平成10年にショートリリーフのつもりで会頭をお引き受けしましたが、平成13年10月には、宇都宮信用金庫、栃木県中央信用組合が破綻し、平成15年11月には、地域経済を担っていた足利銀行の破綻、一時国有化という、本県の経済界にとりまして最大の衝撃が走りました。

風評被害による信用収縮を防ぐことが地域経済を支えるための最重要課題であり、影響を最小限に留めるべく国や日本商工会議所への陳情、また、栃木県中小企業再生支援協議会による企業の再生支援などに東奔西走しました。最終的には、足利銀行の経営体制の早期確立要望に際して、社外取締役に就任せざるを得ず、本年6月まで勤めることとなり、現在に至りました。

この間、上河内・河内との市町大合併による50万中核都市となり、おいしい餃子とふるさと情報館「来らっせ」のオープン、宇都宮城の復元、餃子に続くカクテルやジャズによる「まちおこし」、新たなブランド発信の「宮カフェ」などの事業の取り組みが、現在では、本市を代表する施設、イベントとなっていますことは、感慨深いものがあります。商工会議所の運営に当たりましても、これらのことを踏まえ、中期事業計画、中長期財政計画を策定し、着実な運営に努めて参りました。

あらためて振り返ってみますと、平成15年の中国のWTO加盟、平成16年のユーロの流通開始は、グローバル化時代の本格化を意味するものでありました。国内におきましては、じわじわと進行してきた人口減少社会、特に生産年齢人口の減少は、デフレを常態化し、いわば、経済が体力消耗し、老化現象ともいうべき状況に蝕ばまれています。

この10年、世界は劇的な変化をとげていますが、それにもかかわらず、日本は、戦後の高度成長期のままの多くの法・制度、規制、そして過度な貯蓄重視のマインドは、それ自体が制度疲労を表面化し、円高・デフレにつながっているのではないかと思っています。

私は今、日本の政治経済社会は、「未体験ゾーン」に踏み入れたものと思っており、「事が起こった後、どうするか」ではなく「先を読んで、事が起きる前に行動を起こす」という発想の転換が必要ではないかと考えています。そして、グローバル社会においては、「世界に向かっての国際化」とともに「日本の内なる国際化」が求められているのではないかと考えています。

最後に、このような先が見えない「未知の領域」に入った中、商工会議所運営に当たりましては、大変ご苦労をおかけすることになろうかと思いますが、北村会頭のもと、役員・議員の皆さまには、地域経済の発展のためご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げまして、会頭退任の挨拶といたします。

特集01 商工会議所新体制

宇都宮商工会議所 第44期役員・議員

Utsunomiya Chamber NEWS

新 役員・議員

会頭	北村 光弘
副会頭	須賀 英之
副会頭	藤沢 智
副会頭	斎藤 高藏
専務理事	増渕 昭二
常務理事	倉持 和司
理事	渡辺 政行
理事	小関 秀明
監事	柿沼 壽文
監事	川村 賢
常議員	八城 光男
常議員	青木 利光
常議員	大谷 伸
常議員	野澤榮一郎
常議員	松本 典文
常議員	中津 正修
常議員	藤井 昌一
常議員	半田 芳正
常議員	青木 直樹
常議員	上野 泰男
常議員	瓦井 利宗
常議員	関口 快流
常議員	髙柳 實
常議員	福田 治雄
常議員	野村 栄治
常議員	青木 勲
常議員	宇佐美 修
常議員	笠原 正人
常議員	金 中烈
常議員	酒井 淳
常議員	若月 章男
常議員	赤塚 博実
常議員	飯村 慎一
常議員	加治 康正
常議員	喜谷 辰夫
常議員	小島 章利
常議員	佐藤 節
常議員	仙波冨美雄
常議員	辻 裕司
常議員	徳永 昭一
常議員	林 啓二
常議員	若井 勲
常議員	仲田 俊夫
常議員	辻 博明
常議員	中江 勝男
常議員	田中 彰
常議員	増山 郁夫
常議員	清水 史夫

常議員	浅野 健志
常議員	梅原 英資
常議員	里村 佳行
常議員	角 一幸
常議員	増田 武見
常議員	増田 仲夫
常議員	武藤 俊夫
常議員	村上 芳弘
常議員	竹石 光子
議員	田代 俊太
議員	柴田 好孝
議員	田嶋 恒男
議員	五月女 章夫
議員	中村隆一郎
議員	保坂 勉
議員	坂井 正裕
議員	田野邊 俊司
議員	長谷川 大介
議員	長谷川 静夫
議員	鈴木 康夫
議員	藤原 宏史
議員	船田 雅弘
議員	高橋 好一
議員	大塚 俊男
議員	菊池 三紀男
議員	中島 理
議員	加藤 紀洋
議員	石島
議員	中村喜久美
議員	上野 和夫
議員	柿沼 光子
議員	岡田 昌彦
議員	長谷川 正
議員	廣田 鶴男
議員	入江 操
議員	岡安 規男
議員	片岡 泰三
議員	菊池 茂
議員	篠崎 昌平
議員	神宮 晃
議員	利根川節二
議員	花田 静子
議員	甫立 和也
議員	野口 和孝
議員	安野 真
議員	青柳 勝男
議員	上野 勝弘
議員	助川 通泰
議員	高橋 俊行

常議員	東日本電信電話㈱栃木支店
常議員	富士重工業㈱宇都宮製作所
常議員	㈱ビッグツリー
常議員	㈱TKC
常議員	環境整備㈱
常議員	㈱福田屋百貨店
常議員	㈱ミツトヨ宇都宮事業所
常議員	日東石油㈱
常議員	㈱竹石紙店
常議員	(有)みどりや化粧品店
常議員	柴田建設㈱
常議員	㈱ホテル・ニューイタヤ
常議員	東京電力㈱宇都宮支社
常議員	日本通運㈱宇都宮支店
常議員	ブリヂストンタイヤ栃木販売㈱
常議員	(有)春日屋商店
常議員	宇印宇都宮青果㈱
常議員	㈱カンセキ
常議員	㈱スズテック
常議員	(有)藤原設計事務所
常議員	コクヨ北関東販売㈱
常議員	宇都宮ステーション開発㈱
常議員	関東信越税理士会宇都宮支部
常議員	㈱菊地組
常議員	ミユキ建設㈱
常議員	㈱ケイエムシー
常議員	税理士法人石島会計
常議員	㈱陽南荘宇都宮グランドホテル
常議員	(有)旅館藤江
常議員	㈱雅洞
常議員	アクサ生命保険㈱宇都宮支社
常議員	(有)長谷川時計店
常議員	元気寿司㈱
常議員	宇都宮オリオン通り商店街振興組合
常議員	関東総合開発㈱
常議員	㈱アトムエンジニアリング
常議員	㈱シノザキ
常議員	日神工業㈱
常議員	㈱東京インテリア家具
常議員	明花商事㈱
常議員	富士通㈱栃木支店
常議員	㈱アトム
常議員	ママーマカロニ㈱

常議員	深澤 雄一
常議員	村田 一郎
常議員	森野 良幸
常議員	吉村 憲光
常議員	横松 宏明
常議員	横山 幸子
常議員	秋本 薫
常議員	朝稲 文江
常議員	森戸 義美
常議員	安藤 英夫
常議員	飯村 悟
常議員	青木 忠
常議員	岡崎 善胤
常議員	木内 裕祐
常議員	熊本 勇治
常議員	黒川 知祐
常議員	佐藤 忠雄
常議員	佐畑 浩司
常議員	善林 隆充
常議員	高久 和利
常議員	高橋 和夫
常議員	高山 實
常議員	生出 栄
常議員	星野 隆一
常議員	町田 卓大
常議員	村上 龍也
常議員	村上 篤三郎
常議員	矢治 和之
常議員	谷田部 峻
常議員	安齋 幸
常議員	石川 秋十
常議員	金柿 説生
常議員	金田 秀壽
常議員	児玉 博利
常議員	小矢島重男
常議員	坂本 昭一
常議員	佐藤 千秋
常議員	鈴木 秀明
常議員	髙橋 啓子
常議員	田村 哲男
常議員	手塚 基靖
常議員	伴 和夫
常議員	保坂 毅
常議員	松沼 光男
常議員	水谷 肇
常議員	望月 穀
常議員	和氣 幸雄

常議員	㈱フカサワ
常議員	村田発條㈱
常議員	㈱愛全重車輌
常議員	㈱三洋製作所
常議員	㈱横松建築設計事務所
常議員	横山法律事務所
常議員	㈱アキモ
常議員	㈱ステップワーク日光
常議員	㈱関電工栃木支店
常議員	㈱安藤設計
常議員	飯村石材工業
常議員	(協)宇都宮餃子会
常議員	㈱不二ドライ
常議員	㈱五光宇都宮店
常議員	㈱熊本商店
常議員	㈱日工社栃木事業本部
常議員	興新特殊鋼㈱
常議員	東都工業㈱
常議員	㈱マルセン
常議員	イートランド㈱
常議員	㈱大高商事
常議員	㈱太陽警備保障
常議員	栃木信用金庫宇都宮営業部
常議員	富士興産㈱
常議員	㈱町田建塗工業
常議員	㈱村上
常議員	㈱たいらや
常議員	㈱ココロ企画装飾
常議員	谷田部石材販売㈱
常議員	トランセンス㈱
常議員	報徳流通システム㈱
常議員	(有)石川印刷所
常議員	㈱ニッカネ
常議員	税理士法人児玉税経
常議員	宮ビルサービス㈱
常議員	㈱新光社印刷
常議員	サトーカメラ㈱
常議員	㈱鈴和
常議員	(有)髙橋佑知商店
常議員	㈱田村忠設計事務所
常議員	関東自動車㈱
常議員	伴印刷㈱
常議員	関東交通㈱
常議員	栃木ダイハツ販売㈱
常議員	㈱パルコ宇都宮店
常議員	㈱みずほ銀行宇都宮支店
常議員	(有)高林堂

平成22年11月1日(敬称略)

特集01 商工会議所新体制

宇都宮商工会議所 歴代会頭

Utsunomiya Chamber NEWS

明治26年に設立された当所は、戦争をはさんだ空白期間こそありましたが、117年の歴史を持つ商工会議所です。歴代の会頭をご紹介します。

大谷石造りの旧商工会議所(昭和3年〜)

第2代
篠崎 安平
〈第2期〉
明治28年9月〜明治30年3月

初代・第4代 上野 松次郎
〈第1期〉
明治27年2月〜明治28年9月
〈第3期〜第11期〉
明治 30年9月〜大正3年6月

第9代
小平 重吉
〈第20期〉
昭和21年11月〜昭和22年4月

第8代
横倉 正吉
〈第19期〉
昭和16年4月〜昭和18年9月

第7代
上野 松次郎(順一)
〈第16期〜第18期〉
昭和6年1月〜昭和16年3月

第6代
福田 富次郎
〈第16期〉
昭和4年4月〜昭和6年1月

第3代・第5代 田中 勝次郎
〈第2期〉
明治30年3月〜明治30年9月
〈第11期〜第15期〉
大正3年7月〜昭和4年4月

第14代
荒牧 春三郎
〈第33期〉
昭和55年3月〜昭和55年6月

第13代
高橋 栄作
〈第32期〜第33期〉
昭和49年6月〜昭和55年3月

第12代
保坂 正七
〈第27期〜第31期〉
昭和36年6月〜昭和49年6月

第11代
上野 小七
〈第24期〜第26期〉
昭和29年5月〜昭和36年6月

第10代
玉木 栄吉
〈第20期〜第23期〉
昭和22年5月〜昭和29年5月

第17代
築 郁夫
〈第40期〜第43期〉
平成10年11月〜平成22年10月

第16代
藤井 清
〈第37期〜第39期〉
平成元年7月〜平成10年10月

第15代
河合 順之助
〈第34期〜第36期〉
昭和55年6月〜平成元年6月

設立時の旭日館(明治26年〜)

Column

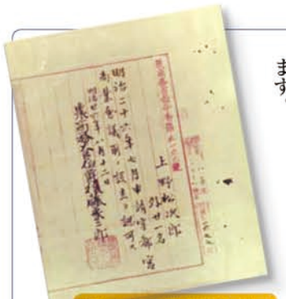
宇都宮商工会議所の歩み

宇都宮商工会議所は明治26年8月12日、全国37番目として誕生した宇都宮商業会議所にさかのぼります。

昭和3年には商工会議所法施行により名称を宇都宮商工会議所と改め組織強化や活動促進が図られましたが、戦時下の昭和18年に商工経済会に再編成され本来の活動は一時中断を余儀なくされました。

戦後になって商工会議所制度が復活すると、昭和21年にいち早く㈳宇都宮商工会議所として再発足し、昭和28年に施行された現行「商工会議所法」に基づく特別許可法人として、また地域商工業の振興発展と社会福祉の増進を図る唯一の地域総合経済団体として今日に至っています。

現在、商工会議所は全国514都市(平成22年11月1日現在、日本商工会議所除く)に存在し、商工業を中心とした地域経済の振興や会員企業のサポートに努めています。



明治26年の設立許可書。許可したのはNHK大河ドラマ「龍馬伝」でも有名な、後藤象二郎。

現在、宇都宮商工会議所が入居している産業会館(昭和56年〜)